

## 巻頭言

愛媛大学工学部等技術部長  
(工学部長) 八尋 秀典

愛媛大学工学部等技術部の平成 29 年度における活動状況を「愛媛大学工学部等技術部活動報告集 Vol.17」として取り纏め、皆様方にお届けいたします。

平成 29 年度は第三期中期目標・中期計画期間の 2 年目にあたります。第三期中期目標・中期計画期間では、各国立大学法人が掲げた戦略を基にして飛躍的な発展が求められています。ここ数年、地方の国立大学は改組・改編が進んでいます。愛媛大学もご存知のように、平成 28 年に社会共創学部が新設され、時期を同じくして法文学部、教育学部、そして農学部が改組を行いました。さらに、平成 31 年度には理学部および工学部が改組を予定しています。工学部はこの改組によって現在の 6 学科を 1 学科に再編して、新しい船出となります。この新工学部は、変化する産業構造に幅広い知識で柔軟に対応する力(柔軟性)、グローバルに活躍できる行動的な力(実践性)、地域の工業をイノベーションする力(創造性)を養うことを基本方針として、これからの社会で活躍できる理工系人材の育成を目指します。これまでにない新しい教育として、(1)化学・物理・数学などの理系基礎科目の充実、(2)安全・知財・コミュニケーションなどの工学系スキルを養う科目の開講、(3)1つの専門だけでなく幅広い知識を養うために自由に科目を選択できる仕組み、などが挙げられます。また、「高度な技術」は年々進化するものであり、学理を伝える講義だけでは到底教授することができず、実験・実習などの学生参加型の教育プログラムの充実も図っています。本学の技術系職員は旧来の技術に留まることなく新しい技術の導入を積極的に行っており、学生参加型教育プログラムを通じて、その技術を学生に着実に伝承しています。



工学部等技術部は、実験・実習など学生参加型授業での教育支援、実験機材の作製や物性評価などの先端研究を支える研究支援、オープンキャンパスや科学体験フェスティバル等の学外者を対象にした社会貢献行事への支援等、年間を通じて幅広い活動を実施するとともに、学内技術職員発表会の開催や各種研修会への参加を通じた技術力向上の取り組みなど多彩な活動を積極的に行ってきました。また、「技術力の向上」に向けて新たな専門知識および技術の習得のため、日々研鑽を積んでいます。今後とも本技術部の活動に対して、ご理解およびご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

最後に、この活動報告集が工学部等技術部の広報活動の起点となり、多くの方々からのご助言を得て、技術部の今後のさらなる発展につながることを期待しております。ぜひご一読いただき、技術部へのご理解とともにご批判ならびにご鞭撻を賜れば幸いです。